

平成25年度  
那霸市若狭公民館  
事業報告



## II 平成25年度若狭公民館事業目次

<b>1 学習風景（写真）</b>	3
<b>2 成人一般対象事業</b>	
〔1〕市民講座	
◇ インターネットテレビ電話・テレビ会議 やってみよう！	4
◇ わかさ妖怪さんぽ	5
◇ ホントの本とのいい関係	6
◇ 若狭ダイエット部 始動！	7
〔2〕成人講座	
◇ つながろう！那覇市防災ネットワーク！	8
◇ 地震・津波 わったーわらばー、ちやーすが！	9
<b>3 青少年対象事業</b>	
〔1〕少年教室	
◇ 夏休み！こどもモノづくり教室	10
◇ WAKASAこどもクッキング	11
◇ WAKASAこどもクッキング（クリスマス編）	12
◇ 夏休み宿泊研修	13
〔2〕青年のための講座・交流事業	
◇ 私と仕事のいい関係	14
〔3〕親子ふれあい教室	
◇ パンケーキお茶会	15
◇ 親子でまわる わかさ妖怪さんぽ	16
〔4〕放課後子ども教室	
◇ 若狭ちむどんどん太鼓	17
◇ こども放送局をつくろう！	18
<b>4 家庭教育事業</b>	
〔1〕乳幼児学級	
◇ Happy ママ&キッズ クラブ	19
<b>5 その他事業</b>	
〔1〕地域連携事業	
◇ 第17回若狭地域文化祭	20
◇ 簡単！しめ縄づくり	21
◇ 若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動	22
◇ 新春もちつき大会	23
◇ 第19回ナイトウォーク	24
<b>6 公民館まつり</b>	25, 26

## 1 学習風景



☆青年のための講座・交流事業  
「私と仕事のいい関係」



☆市民講座  
「若狭ダイエット部 始動！」



☆成人講座  
「つながろう！那覇市防災ネットワーク！」



☆親子ふれあい教室  
「パンケーキお茶会」



☆地域連携事業  
「第19回ナイトウォーク」



☆放課後こども教室  
「こども放送局をつくろう！」

## 2 成人一般対象事業

### 〔1〕市民講座

#### インターネットテレビ電話・テレビ会議 やってみよう！

趣 旨：インターネットテレビ電話を上手に活用し、集まる時間が取れない忙しい時や、離れた地域でも充実した会議をするための方法を学び、必要な機材の準備などの実践も行う。

期 間：平成25年6月17日、24日（月）全2回

時 間：19：00～21：00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の方

受 講 料：無料

定 員：20人

申込人数：23人

参加延べ人数：40人

講 師：亀島良泉（五泉工房）

#### 学習プログラム：

回	日時	講 師	内 容	人 数
1	6月17日(月)	亀島 良泉 (五泉工房)	無料のビデオチャット（Google+ハングアウト）に関する座学と練習	23
2	6月24日(月)	亀島 良泉 (五泉工房)	県外にいる講師、自宅参加の受講生と公民館の会場を繋ぎ、複数箇所とのビデオ会議実践	17



#### （参加者の声）

- ・初めて体験しました。子どもの頃テレビでみた近未来の世界が現実になっていてビックリです。これから自分でもトライしてできるようになりたいです。
- ・先生もスタッフもわかりやすく説明してくれてよかったです。もっと回数を多くして、またやってほしい。

#### （まとめ）

総務省の行う情報通信月間参加行事として、事業費の一部に援助金を受けて実施した。  
講座では、ネットワークの不具合もあったが、県外にいる講師や自宅参加の受講者とビデオチャットで繋がることができ、受講者はこれまで体験したことのない情報通信技術に触れることに喜びを感じていた。講座修了後のアンケートからも非常に満足度が高かったことが伺える。しかし、2回の講座だけでは、その技術を習得するまでにはいかなかった。今後は複数回開催することで技術の習得まで行える講座を検討したい。

## わかさ妖怪さんぽ

趣 旨：若狭および久米や辻など、周辺に存在する場所にまつわる妖怪伝承やそれにまつわる歴史を知り、また実際にその場所へ行ってみることで「生きた伝承」のなかに身を浸してもらい、地元の歴史について認識を新たにする。

期 日：平成25年6月14日（金）、15（土）19：00～21：00 全2回

場 所：若狭公民館および周辺地域

対 象：那覇在住の在勤在学の18歳以上の方

定 員：30人

参加延べ人数：96人 およびマスコミ5社

講 師：小原猛（NPO法人地域サポートわかさ／「琉球妖怪大図鑑」著者）

### プログラム

回	内 容	人数
1	座学 沖縄の妖怪の系譜。沖縄に存在する「マジムン」の概念と、その伝承の歴史を振り返る。	49
2	若狭近辺の伝承地を訪ねる 若狭公民館→唐守森→波の上宮・護国寺→ケンサヤー跡地→護道院寺井戸跡→ユーチヌサチ→夫婦瀬公園→潮渡橋→若狭公民館	47



【1日目】座学 開講式／マジムンの概念と伝承について

【2日目】伝承地を訪ねる 唐守森（牛マジムン）



【2日目】伝承地を訪ねる 護道院跡（耳切坊主）からユーチヌサチ、夫婦瀬公園、潮渡橋（仲西ヘーイ）

（受講者の声）

- ・絶滅種の沖縄の妖怪を生き返らせて下さった今回の講座楽しかったです（50代男性）
- ・地域起こしが新しい視点で出来ていて参考になりました（40代女性）
- ・歩く際はもう少し少人数が良いと思いました（50代会社員）
- ・地元の妖怪を学べる機会なんて全くなかったので、新たな視点から地元を見つめることができました。今回の講座を通して、時代は違えど同じ場所に住む人々の生活、考えが見えて楽しかったです（20代会社員）（まとめ）

アンケートの結果はおおむね好評であったが、唯一不満の残る点としては、2日目の外を回る講座の人数が多くて、交通安全の面が気にかかった。取材も含め50名近い人数になってしまったので、次回開催する場合は20名程度が望ましいと感じた。参加者からは次回開催を望む声が多く上がった。

## ホントの本とのいい関係

**趣 旨**：青年講座「私と仕事のいい関係」で行った、様々な職業の人を招いて話を聞き、そこから仕事に対する理解や喜びを見つけてもらうという趣旨を活かしながら、対象年齢を広げ市民講座として開催する。那覇市内で古書店を営む講師を招き、本への熱い想いと選んだ道を熱き続けるための心構えや工夫についてお話を伺う。

**日 時**：平成26年1月20日（月）19：30～21：00

**場 所**：若狭公民館 第1研修室

**対 象**：那覇在住・在勤・在学の18歳以上の方

**参 加 者**：32人

**講 師**：櫻井伸浩（ちはや書房）、宇田智子（市場の古本屋ウララ）

### プログラム

内 容		人 数
1	座学	32

那覇市内で古本屋を営む櫻井伸浩さん、宇田智子さんをお招きし、両名の生い立ちから、沖縄に移住した理由、またなぜ古本屋という職種を選んだのかという話を伺った。普段は知らない古本屋の仕入れや裏側についての話を通して、仕事に対する理解を深める。



### (参加者の声)

- ・仕事としてのスタンス、古本屋のあり方、様々なことが聞けて大変良かったです（20代女性）
- ・独立する方のメンタル部分が聞きたくて参加しました（30代会社員）
- ・仕入れ値と売値のつけ方など、聞けないこともズバリ聞けて面白かったです（30代女性）

### （まとめ）

普段は聞けない古書店の裏側、また自営業として古書店経営を決意するに至った人生の転機などを知ることが出来、受講者の満足度は高かった。年代としては20代から70代まで、幅広い年代の人が集まったが、とくに20代、30代の参加が目立った。反省材料としては、どうして公民館がこのような講座を行うことにしてか、また講座のプログラムなどについての事前説明をもっと丁寧にできれば、さらに学習を深めることができたと思う。

## 若狭ダイエット部 始動！

**趣 旨**：沖縄県が長寿日本一から急転落したことで、健康に対する関心が高まっている。講座では、ただ単に体重を落とすのではなく、正しいダイエット法を学び、元気な心と体で人生を楽しめるようになることを目的とする。また、参加者同士が同じ目標に向かって励まし合うことで仲間づくりにも繋げる。

**日 時**：平成26年2月3日、10日、17日（全て月曜日）19：00～21：00 全3回

**場 所**：若狭公民館 第1研修室

**対 象**：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

**受 講 料**：無料（但し、保険料、材料費といいで500円は自己負担）

**定 員**：30人

申込人数：36人 参加延べ人数：64人

**講 師**：津波真澄（野菜ソムリエ、ベジフルビューティー・アドバイザー）

### 学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容	人 数
1	2月3日（月）	津波 真澄	各自ダイエットの目標を定め、みんなの前で宣言。 食事の中で気をつけることを学んだ。	29
2	2月10日 (月)		日常生活の中でできるストレッチや筋トレを学んだ。 近くの公園でダイエットに効くウォーキングの方法を伝授していただいた。	17
3	2月17日 (月)		2週間がんばってダイエットに取り組んだことをねぎらい、ご褒美スイーツを試食。受講生から集めたダイエット情報の資料をもとに、正しいダイエット情報の選び方などを学んだ。	18



### （参加者の声）

- ・食生活、体を動かすことなどわかりやすく講義して下さったので、大変良かったです。
- ・同じ興味を共有し合う仲間がいるということも良かった。3回で終わってしまうのはもったいないので、今後もこのような講座やサークルを開講して欲しい。
- ・はじめての講座で1人での参加でしたが、楽しく受講することができました。津波先生がお話上手でステキで見て聞いて楽しかったので、がんばろうって思いました。
- ・楽しい講座でした。参加者同士の交流もあって、色々な意見を聞けて良かった。またやりたい。

### （まとめ）

ダイエットというテーマの下、幅広い世代の方々が集まり交流できたことが良かった。ただ単純に体重を落とすということに留まらず、健康的にそして楽しくダイエットに取り組むという津波先生のスタンスが素晴らしい、受講者も熱心に話を聞き、前向きにダイエットに取り組む姿勢があった。

またサークル化を望む声もあがり、今後も継続する方法を模索していきたい。

## 〔2〕 成人講座

### つながろう！那覇市防災ネットワーク！

趣 旨：東日本大震災以降、防災に対する関心が高まり、各機関、地域で様々な取り組みが行われている。しかし、それぞれの情報や課題が共有されておらず、連携体制が弱い状況がある。今回、DIG 手法を用いたワークショップをもとに、地域の防災活動を進めるうえでの課題や情報、経験の共有を図り、コミュニティ防災活動の基礎づくりを推進するきっかけとして、顔のみえる協力関係を作っていくけるような場を創出する。また、琉球ニライ大学との連携により、市民が主体的に提案するコミュニティ防災の取り組みの後押しとなることを目的とする。

日 時：平成25年9月1日（月）19：00～21：00

場 所：若狭公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料

定 員：40人

参加人数：38人

講 師：伊良部秀輔（元JICAコミュニティ防災能力向上プロジェクト専門家）

共 催：NPO法人琉球ニライ大学

協 力：那覇市市民防災室、那覇西消防署、那覇市社会福祉協議会

学習プログラム：

【第一部】参加者自己紹介のあと、DIG（図上シミュレーションワークショップ）実施

【第二部】各グループ発表と参加団体の活動事例紹介

講師による中米地域の自主防災の取り組み事例紹介と講評



#### （参加者の声）

- ・防災については何も分からぬ自分がいて、とても危機感を覚えました。今回で沢山の情報を得られたので、自分の地域に持ち帰り、また疑問を持ったところを調べようと思いました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。今回をきっかけに地元でも学びの場を作って広げて行きたいです。

#### （まとめ）

今回の講座は琉球ニライ大学をはじめ、那覇市市民防災室、那覇西消防署、那覇市社会福祉協議会等各機関の協力を得ることができ、また各地域で自主防災に取り組む方々に参加いただくことにより、実り多い充実した講座になった。受講生は、地図上にさまざまな情報を書き込んだあと、実際に災害が起こった場合を想定し避難するシミュレーション「DIG」を通して、災害時の判断に正解はなく、それぞれが情報収集する中で冷静に判断し行動することが必要であることを学んだ。また、このような取り組みは継続して行う必要があるという認識も生まれ、対象地域を絞ってより具体的なシミュレーションを行う防災講座第2弾を開講することも決定した。

## 地震、津波、わったーわらばーちゃーすが！

趣 旨：防災の日にあわせて開催した講座「つながろう！那覇市防災ネットワーク！」で得た知識や情報をふまえ、実際に地震や津波が起こった時のことを想定した具体的な取り組みとして実施する。

日 時：平成25年11月11日、18日（月）19：00～21：00 全2回

場 所：若狭公民館および周辺地域

対 象：那覇在住・在勤・在学の18歳以上の方

参加者数：18名

講 師：伊良部秀輔（地域防災スペシャリスト）、佐渡山安博（紙芝居作家・実演家）

### プログラム

	内 容	人 数
1	座学 若狭地域の地形および過去の地震のデータに基づく講義。若狭公民館が避難場所になっていることから、屋上近くまで実際に上がった。	8
2	座学および周辺の避難場所 講義の後、全員で近隣の避難場所である松山公園まで実際に出かけて、そこまでにかかる時間や問題点などを考察した。	9



### (参加者の声)

- 1回目は地域の方々によく知らされていなかった。2回目の今日は講座があることを地域の方々に話して、出来るだけ参加するよう呼びかけた。
- 今回のように実際に自分達で経路を行くのか想定して見ることができて、大変有意義でした。
- 大変良かったです。これからも継続してやってください。
- 災害の知識だけではなく、実際に避難経路を考え、行動することで気づく点が多くあることに驚いた。とくに車いすを押しながら、障がい者の目線に立ちながら災害が起きた際にはどのような準備をすれば良いかを、具体的に考えるようになったと思います。

### (まとめ)

津波が若狭地域に来たときに「安心して安全に逃げる」為にどうすべきかを、実際の資料を元に確認し、一番近くの避難場所まで歩いてみることによって、体感することができた。また沖縄地方に伝わる津波伝説の民話「ザン（人魚）」「ヨナタマ（人面魚）」を紙芝居にして、プロの紙芝居師の佐渡山安博さんに朗読してもらうという試みも行き好評を得た。普段、防災について意識することの少ない方や子どもたちへのアプローチとして民話を紙芝居にして伝えるという手法に手応えを感じた。

若狭公民館エリアは海拔2メートル以下の地域が多く、このような講座を定期的に行うことによって、今まで低かった防災に対する意識を再認識させると重要であるとあらためて感じた。

### 3 青少年対象事業

#### 〔1〕少年教室

##### 夏休み！こどもモノづくり教室

趣 旨：那覇市内の児童を対象に、夏休みの居場所として、モノづくり体験の場を提供する。工作を通して、モノづくりの楽しさから創造力を身につけると同時に、保護者が不在になりがちな夏休み中の居場所をつくることで児童の健全育成にもつなげることを目的とする。

日 時：平成25年8月16日（金）、23日（金）10：00～12：00 全2回

場 所：若狭公民館 第1研修室、実習室、和室

対 象：那覇市内の小学1～6年生

受講料：無料（但し、材料・保険料として各回300円徴収）

定 員：各回20人

参加延べ人数：13人

講 師：宮城潤（NPO職員／美術講師）、真喜屋力（映画監督）

##### 学習プログラム

回	タイトル	講 師	内 容	人數
1	モビールでつくる夢の世界	宮城 潤 (NPO職員/美術講師)	天井から吊るす、ゆらゆら揺れるおもちゃ モビールを作る	7
2	くるくるまわるアニメのおもちゃゾエトロープをつくろう！	真喜屋 力 (映画監督)	ゾエトロープというアニメーションの装置を作り、手描きアニメーションが動く様子見て楽しむ	6



##### （参加者の声）

- ・時間にまに合わなくて、とちゅうまでしかつくれなかつたけどたのしかつた。
- ・じぶんがかいた絵がうごくからうれしかつたです。

##### （まとめ）

工作を通してモノづくりの楽しさを知り、創造力を身につけるという狙いがあったが、モビールづくりは低学年には少し難しかったようで、時間内に仕上げることが出来ず課題を残した。ゾエトロープづくりでは事前準備、スタッフ間の連携により参加者それぞれが楽しむことが出来、受講者の満足度も高かった。

## WAKASAこどもクッキング

**趣 旨**：食生活が偏りがちな夏休み、食べることの大切さと料理をする楽しさを知るきっかけづくりをする。

**期 間**：平成25年8月5日・12日・19日（毎週月曜日）全3回

**時 間**：10:00～13:00

**場 所**：若狭公民館 実習室

**対 象**：若狭小学校、天妃小学校の児童（4年生～6年生）

**受 講 料**：無料（保険料、食材費実費として1,000円）

**定 員**：12人（先着順）

申込人数：9人

参加延べ人数：22人

調理指導：東澄子（NPO法人地域サポートわかさ）

### 学習プログラム

回	月 日	内 容	参加人数
1	8月5日	調理実習 「くずし豆腐のとろ~りチーたま丼、春雨スープ」	7人
2	8月12日	調理実習 「マイルド焼きカレー、黒糖シフォンケーキ」	7人
3	8月19日	調理実習 「カリもち焼きうどん、濃厚チーズケーキ」	8人



#### (受講者の声)

- ・おいしかったので、また作りたいです。
- ・作ったことのない料理ができてよかったです。家でも簡単に作れるのでつくってみたいです。
- ・もう少し料理をしたかった。

#### (まとめ)

最近の子ども達はレトルト食品やファーストフードなどを食べる機会が多くなっており、生活習慣病の低年齢化が心配されている。この講座をきっかけに食べることは体づくりに必要不可欠であることを意識してほしいと思い企画した。

講座では、料理をするときの身だしなみ、必要な道具、食材の切り方、調理方法など細かい指導をしながら、準備から片づけまでひととおりの作業をグループで協力しあって行った。どこの家庭にでも常備しているような食材を使い、簡単で、栄養バランスもいい献立を作つて食べることにより、料理をする楽しさを実感できたと思う。

## WAKASAこどもクッキング（クリスマス編）

趣 旨：普段使いの食材をクリスマス風にアレンジし、クリスマスの夕食の一品とする。  
日 時：平成25年12月25日（水）16:00～18:00  
場 所：若狭公民館 実習室  
対 象：那覇市内の小学生（4年生～6年生）  
受 講 料：無料（保険料、食材費実費として800円）  
定 員：12人（先着順）  
申込人数：12人  
参加人数：12人  
調理指導：東澄子（NPO法人地域サポートわかさ）  
内 容：クッキング  
《メニュー》デコレーションミートローフ



館長のあいさつ



材料を混ぜ合わせこねる。



ミートローフに飾り付け



試食タイム



クリスマス風ミートローフ



後片づけ

(受講者の声)

- ・かわいくできたのでうれしかった。
- ・ひき肉をこねていると、手が冷たくなった。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんのクリスマスプレゼントにします。

(まとめ)

クリスマスのパーティーメニューとしてオーブン料理「ミートローフ」を作った。

クリスマスソングのBGMで雰囲気を楽しみ、先生のデモンストレーションを見たあと、調理に取り掛かった。野菜をカットして、材料を混ぜ合わせオーブンで焼くだけの簡単な料理だが、作業の進み具合に多少ばらつきは出た。それでも、互いに助け合いながら進めることができ、全員満足できるミートローフを作ることが出来た。

講座修了後、出来上がった料理はクリスマスディナーの一品として各自お土産としてお持ち帰った。後日、受講生の保護者から、大変おいしかったと喜びの感想を聞くことが出来た。

## 夏休み宿泊研修

趣 旨：放課後子ども教室「こども放送局をつくろう！」の児童を対象に実施した宿泊研修。宿泊を通じて他校の子や異学年の子たちと交流し、自分の世界を広げると共に、普段の活動をする上での結束力を固めてもらうことを目的とする。

期 間：平成25年8月16日（金）～8月17日（土）

場 所：若狭公民館 第2研修室、和室、実習室

対 象：放課後子ども教室「こども放送局をつくろう！」参加児童

受 講 料：無料（材料費、保険料等実費として2,000円徴収）

参加人数：20人

講 師：諸見里杉子（フリーアナウンサー）、真喜屋力（映画監督）、宮城潤（NPO地域サポートわかさ）



最初のオリエンテーション（和室にて）



朝のラジオ体操（若狭海浜公園）



取材のコツについて学習



若狭児童館でセラピー犬について取材



取材先で食事（若狭児童館）

### （参加者の声）

- ・セラピー犬は優しい犬ばかりでとても可愛かった。
- ・夕食のロコモコが本格的で驚いた。みんなでご飯を作ったのが楽しかった。
- ・夜のレクリエーションでパラパラ漫画をつくったりしろくま（かき氷）を食べたりして楽しかった。
- ・セラピー犬の取材では生命の大切さと動物の力や可愛さがわかった。

### （まとめ）

1泊2日という短い時間の宿泊研修だったが、他校・異学年同士の交流ができ、また自分たちで食事の準備をしたり、取材のコツの講座を受講するなど普段できない体験もする事ができた。児童館でのイベントのセラピー犬の取材では、命の大切さを考えるきっかけになった様子が伺えた。

次回は十分な宿泊日数を設けて、より充実した内容にできたらと思う。

## [2] 青年のための講座・交流事業

### 私と仕事のいい関係

**趣 旨：**「はたらくこと」をテーマに、受講者が今よりも、いきいきと充実感をもってはたらくためのヒントを探すこととする目的とする。また、働く中で生じる悩みや不満・疑問を解決するための糸口を見つけ、働くことに対しての前向きな気持ちを育むことも狙いとする。

**日 時：**平成25年9月30日（月）～11月4日（月）19：30～21：30 全5回

**場 所：**若狭公民館 第1

**研修室**

**対 象：**那覇市内に在住・在勤・在学の18才～39才までの青年

**受 講 料：**無料 **定 員：**30人 **申込者数：**41人 **参加延べ人数：**107人

**学習プログラム：**

回	日にち	講 師	内 容	人數
1	9月30日	小池美津弘(M. koike) 渡嘉敷洋美(那覇市役所) 小原裕輔(八重岳ベーカリー)	3名のゲストから働く上で大事にしていることや仕事の楽しさとは何かなどをお話し頂いた。	23
2	10月14日	赤嶺久美 (一般社団法人ジョブリッジ研究所)	仕事をする上で、必要な姿勢、コミュニケーションで大事なことは何か、など学んだ。	23
3	10月21日	沖縄タイムスNIE事業推進室	NIEワークショップで、自分自身の興味関心を明らかにし、求めているものを探った。	19
4	10月28日	山田哲史(COFFEE potophoto) 中井雅代(CALEND-OKINAWA) 赤嶺謙一郎(HUVRID)	3名のゲストから、自分のやりたいことをカタチにするためにはどうしたらいいのか、についてお話をもらつた。	27
5	11月4日	赤嶺久美 (一般社団法人ジョブリッジ研究所)	講座全体のまとめ。4回の中で感じた事、得た事などをまとめ、それを今後どう活かしていくかと思つてはいるかも含め、発表した。	15



(左) ゲストの話に耳を傾ける受講生／(中) NIEのワークショップ／(右) 最後の記念撮影  
(参加者の声)

・公民館の講座には初めて参加しましたが、20代も参加できてすごくためになる内容であることに驚きました。

・毎回とても良い話が聞けて、参加してよかったです、と思いました。

・夜という時間にもかかわらず、参加者が多いという事は社会にニーズがあるのだと思います。

(まとめ)

様々なゲストや講師をお招きして、講話やワークショップを通して学んだ。仕事をする上での悩みや問題を考える事が、自分の人生を考えることにつながる、ということを講座の中で実感した。

受講生と講師の交流が生まれたり、公民館の良い面を見てもらえたことが、意義深かったと思う。

同時に、各自の抱える問題が多岐にわたっているので、専門機関と繋げることができたら、より良い内容になったのではないかと感じた。今後の取り組みの中で意識していきたいと思う。

### [3] 親子ふれあい教室

#### パンケーキお茶会

趣 旨：作る喜びや、食の大切さを体験するきっかけづくりとして、親子で料理をしてふれあうことを目的とする。

日 時：平成25年6月8日（土） 14：00～17：00

場 所：若狭公民館 実習室・第1研修室

対 象：那覇市在住、在勤の親子（幼稚園から小学生）

受 講 料：無料（但し、材料費保険料実費 一組500円）

参加人数：11組（24名）

#### 【プログラム】

14：00～ 受付

14：05～ 始めのあいさつ （若狭公民館館長 下地敏雄）

担当職員の紹介と注意事項

グループ分けと準備

14：20～ パンケーキづくり開始（基本の生地に別の食材を入れて2種類のパンケーキを作る）

16：00～ お茶会（第1研修室へ移動）

16：30～ 片づけ

17：00～ 終了

#### 【メニュー】

① ふわふわパンケーキ・・・生地にヨーグルトを入れてふわふわパンケーキに、ヘルシーな豆腐ホイップをトッピングする。

② 和風もちもちパンケーキ・・生地に片栗粉を加えてもっちり感をプラスし、トッピングにれんこん、海苔、チーズでお醤油風味にする。



#### （参加者の声）

- ・子どもを連れて2種類作るのは非常にきつくなかったです。1種類で、ゆっくり時間を使う方がいいです。
- ・たくさん焼けてよかったです。ホイップはもう少し甘い方がいいです。

#### （まとめ）

普段、育児に仕事にと慌ただしく過ごしているお母さん方に、週末の時間を利用し親子でおやつを作り楽しんでいただくことができた。また、基本のパンケーキに変わった食材をプラスすることでひと味違うパンケーキになることを学び、おやつのレパートリーも増えたことだと思う。

参加者の交流を図るためにグループに分かれて取り組かったが、作業の進み具合で時間差ができてしまい食べるまでに時間が空いてしまい子ども達が飽きてしまうなど、プログラムの時間配分を工夫する必要があると感じた。

## 親子でまわる わかさ妖怪さんぽ

趣 旨：若狭の周辺に存在する場所にまつわる妖怪伝承や歴史を知り、実際にその場所へ行ってみる事で「生きた伝承」のなかに身を浸してもらい、地元の歴史について認識を新たにする。家庭のコミュニケーションツールの一つとして、地元の伝承を語り合いながら、親子で共に学んでもらう。

日 時：平成25年8月3日（土）9：00～11：30

場 所：若狭公民館および周辺地域

対 象：那覇在住の小学生および保護者

受 講 料：無料（但し、保険料等実費として100円徴収）

定 員：15組

参 加 者：13組（27名）

講 師：小原猛（NPO法人地域サポートわかさ／「琉球妖怪大図鑑」著者）

### プログラム

時 間	内 容	
9:00～10:10	オリエンテーション &探訪	若狭公民館に集合したあと、オリエンテーションののち、唐守森→ケンサヤー跡→ユーチヌサチを探訪した。
10:10～11:30	座学	公民館に戻ったあと、世界の妖怪、日本の妖怪、沖縄の妖怪の順番に解説し、最終的に親子で妖怪の絵を描いてもらった。



### （参加者の声）

- ・今回参加していろんな妖怪のことを知れたので良かった（小学校6年生）
- ・大変有意義でした。知らないことだらけでしたので為になりました（40代会社員）
- ・地元の妖怪を知れて楽しかった（小学校4年生）
- ・最初は怖いとおもったけど行ってみたら楽しかった（小学校2年生）

### （まとめ）

真夏の暑い時期の開催だったので、外を回る際には熱中症に十分注意をし、事前に保護者にも連絡を入れた。歩く距離は短く、30分程度であったが、これが親子で歩ける限界であった。今回は親子ということで、最後に妖怪の絵を親子で描くという作業も入れてみたが、楽しくおしゃべりしながら和気あいあいと講座は修了した。この講座で学んだことを、家庭の中で子どもとのコミュニケーションに役立てもらいたいという願いがあったのだが、こちらの願いは十分伝わったように思われる。

## [4] 放課後子ども教室

### 若狭ちむどんどん太鼓

**趣 旨**：放課後の子どもたちの安全・安心な居場所として、公民館で活動することをおして、児童が地域社会の成員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材になることを目的とする。また、エイサーをとおして郷土の文化・芸能に触れるとともに、地域行事で披露することで地域連帯意識の強化を促す。

**期 日**：平成25年4月1日～平成26年3月31日 毎週火・木曜日 17:00～18:00

**場 所**：若狭公民館 ホール・第1研修室

**対 象**：若狭小学校、天妃小学校、那覇中学校の児童生徒

**登録児童**：31名

**参加延べ人数**：2, 452人

**指導者**：岸本麗子（若狭一丁目自治会会长）、東澄子（NPO法人地域サポートわかさ）

#### 【主な参加イベント】

4月	大型旅客船バースで歓迎演舞・波の上ビーチ「海びらき」オープニングセレモニー
5月	なんみん祭 行列・沖縄タイムス ふるさと元気応援企画「お~りと~り石垣島」 若狭小学校PTA主催「職員歓迎会」
6月	孔子廟のお引っ越し【行列参加】
7月	高齢者複合施設「うえの家」訪問演舞、ゆうゆう塾（宮城県）交流会 めおと橋保育所夕涼み・若狭小PTA主催「わかさっ子祭り」、交流会（北海道）
8月	一万人エイサー踊り隊・前島三丁目夏祭り・終戦記念日（平和祈念公園）・佐賀県武雄市交流会
9月	NHK制作番組「SONGS」収録の協力・大型旅客船バース見送り演舞・
10月	地域見守り交流会
11月	第17回若狭地域文化祭・天妃小PTA主催「天妃っ子まつり」
12月	第16回子どもフェスタinなは・ウクレレピクニック2013 in沖縄NAHA City
1月	新春もちつき大会
2月	花と食のフェスティバル・若狭一丁目自治会生年祝い・若狭公民館まつり



第16回 子どもフェスタ

(受講者の声)

- ・一万人のエイサーやクリスマス会、交流会などたくさんのイベントがあって楽しい。
  - ・友達もたくさんきて、エイサーをうまく踊れるようになったのでうれしい。
- (まとめ)



若狭公民館まつり

公民館を放課後の居場所として活用することで、地域の大人との関わりが生まれ、子ども達にとっていい刺激になっている。また、地域の敬老会や祭りに積極的に参加しており、発表の場が多くあることは児童のやる気と向上心に繋がっている。

## こども放送局をつくろう！

趣 旨：地域情報を収集、発信することを通して、地域のことを知り愛着を持ってもらうことがねらい。  
また、メディアリテラシーを身につけることと、創意工夫をする楽しさを知ってもらうことを目的とする。

期 間：平成25年6月1日（土）～平成26年3月29日（土） 全35回

時 間：10:00～12:00

場 所：若狭公民館 第2研修室

対 象：那覇市内の小学校4年生から中学校3年生まで

受 講 料：無料（但し、実費として保険料400円、材料費600円徴収）

登録児童：20人 参加延べ人数：290人



若狭海浜公園でCMづくり



番組配信の様子／「本」をテーマに



地域文化祭宣伝用ポスターづくり／お楽しみ会のプログラムづくり／キンダー国際映画祭in沖縄にスタッフ参加

### (参加者の声)

- ・普通の日常生活のではできないことが体験でき、参加して良かったと思います。
- ・みんなで楽しくいろいろなことができたので、とても良かったと思う。

### (まとめ)

6月から3月までの9ヶ月間に35回で開催された教室。ユーストリームというインターネットサービスを使い番組をつくることが主な活動。番組をつくる過程で、地域の情報を収集しに町へ出たり、取材のコツを学んだりなど、様々な体験をした。教室の中では、子どもたちが自分の頭で考える機会をつくるよう心がけ、また、個々の得意を活かせるように意識した。成果としては、最初は自分の意見を言うが苦手な子どもたち徐々にできるようになっていき、人前での発表が格段に上達したことだと思う。

## 4 家庭教育学級

### [1] 乳幼児学級

#### HAPPY ママ&キッズ クラブ

趣 旨：核家族化で閉塞的な子育てになりがちな環境の中、育児の不安や悩みを軽減できるように育児に関するノウハウを学び、お母さん的心と体の安定と仲間づくりをサポートする。

日 時：平成25年9月20日、27日、10月4日、11日（金）10：00～12：00 全4回

場 所：若狭公民館 第1研修室・和室、若狭児童館

対 象：那覇市在住、在勤の親子（1歳～2歳半） ※託児あり（無料）

受 講 料：無料（但し保険料300円は、自己負担）

定 員：15組 申込人数：22人 参加延べ人数：56人

#### 学習プログラム

回	月 日	内 容	講 師	人 数
1	9月20日	ボディトーク（体ほぐし 心ほぐし）	安次富範子 (しあわせ工房代表)	18人 親子
2	9月27日	心と体のそだて方（講話とおしゃべり会）	百名奈保（助産院きらきら助産師、保健師）	10人 親のみ
3	10月4日	氣質学、個性を伸ばすコミュニケーション術	安次富範子 (しあわせ工房代表)	8人 親のみ
4	10月11日	おもちゃコンサルタントから学ぶ感性をはぐくむおもちゃ選び（若狭児童館つどいの広場との交流講座）	土屋よしこ (カーサマチルダ代表)	20人 親子



ボディトーク

（受講者の声）



心と体のそだて方



おもちゃ選び

- ・はじめて託児も利用できたので、私も子供も一歩良い経験になりました。もっとたくさん受講したいくらいのあつという間の3回でした。手探りの子育ても、クリアになる気がしました。
- ・毎回違う内容でとても勉強になりました。授業を聞くという感じでママ達が受け身になってしまってママ同士がもっと悩みを相談しあえるような講座もあるといいです。
- ・子どもにとって遊びは学びということを意識してみたいと思います。この機会に買い与えるおもちゃも吟味していきたいです。

（まとめ）

今回の乳幼児学級は、「ママの笑顔がいちばん！！」をテーマにお母さんのストレスケアからはじめ、子どもの発達についてのお話しとおしゃべり会で育児を共有し、また氣質学で家族の相互理解の参考に、最後の回はお母さんたちのネットワークを広げる目的も兼ねて若狭児童館つどいの広場との交流講座を行った。

参加者の殆どが初めての子育てということで熱心に受講していた。また、児童館などの子育て支援施設の利用は初めての方も多く、遊び場に困っていたとの声もあったので、児童館との交流講座は子育ての仲間づくりのきっかけにもなり有意義だったと感じている。

## 5 その他事業

### [1] 地域連携事業

#### 第17回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施することで、高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図り、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成25年11月2日（土） 13:30～18:30

場 所：若狭公民館 ホール

参加人数：2,500人

主 催：NPO法人地域サポートわかさ

#### 【内 容】

舞台発表	吹奏楽、エイサー、獅子舞、旗頭、ハワイアンフラ、ベリーダンス、他
子どもイベント広場	エプロンシアター、大型絵本、他
各種ブース	健康相談（無料）
出 店	若狭児童館わくわくクラブ制作ミサンガ、沖縄そば



（まとめ）

第17回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。

舞台発表は、幼児、児童・生徒、地域婦人部、サークル団体の発表の場となっているほか、獅子舞、エイサー、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触れることができる。しかし、今年度は雨天のため会場を若狭公民館に変更したことで旗頭などの野外演舞やボーイスカウトによる竹の遊具を使った遊びが中止になったことは残念であった。

雨天により会場およびプログラムの変更が生じたが、子どもイベント広場の沖縄福祉保育専門学校生徒による大型紙芝居やエプロンシアターは実施でき、好評を博した。

若狭地域文化祭は、文化体験を通して地域住民が交流できる場として根付いている。荒天による会場及び内容の変更を余儀なくされたが、実行委員会の適切な判断と素早い対応で混乱せずに運営することが出来た。

## 簡単！しめ縄づくり

趣 旨：お正月にやって来るという「年神様」とは、家々に一年の実りと幸せをもたらす神様だと考えられています。お正月は、そんな神様をお迎えする大事な行事です。しめ縄は、新年に外からの災いが家の中に入らない様に出入り口に飾るお正月には欠かすことの出来ない正月飾りのひとつです。今回は、家族の幸せを願い、心のこもったしめ縄を手作りします。

日 時：平成25年12月21日（土）10：00～12：00

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学で小学生以上の方（小学生は、親子で参加）

受 講 料：無料（但し、保険料として一人100円・材料費として一家族200円を自己負担）

定 員：25組

申込人数：27組

参加人数：24組（46名）

指 導 者：饒平名知廣・村里竹一（地域ボランティア）



### （受講者の声）

- しめ縄をはじめて作りましたが、とても楽しかった。
- 子どもと一緒に楽しく作ることが出来て良かった。スタッフの方も親切で楽しく体験出来ました。
- 穴を開けるところが少し難しかったが、かざりを付けるのは楽しかった。また作りたいです。
- はじめてしめ縄づくりを体験しました。自分で作ったしめ縄を飾るのが樂しみです。
- マンション住まいのため飾る場所が限られるのでサイズを選べれば良かった。
- 正月前の楽しい時間を有り難うございました。これからも親子・孫と一緒に参加できる講座があると良いですね。

### （まとめ）

那覇大綱挽きで使用した綱を利用し、しめ縄づくりを行った。日本の伝統的な正月飾りの一つであるしめ縄を手作りすることにより、日本古来の風習や由来を後世に伝えるきっかけに出来ればと思い講座を企画した。試行錯誤しながらも楽しそうに制作する姿は、微笑ましく、出来上がった作品も皆さん満足していただけたので良かったと思う。

## 若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動

**趣 旨**：地域の各機関が一丸となって清掃をし、親睦を通して青少年健全育成を図る。自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者、NPO、公民館利用団体が参加し、若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施し、プラスONE活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会による豚汁の振舞いなべを食べることで、親睦が深まることを趣旨とする。

**日 時**：平成25年12月15日（日）9：30～12：00

**場 所**：旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園、地域清掃

**対 象**：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者など

**参 加 者**：150人

### プログラム

	時 間	内 容		人数
1	9：30～11：00	地域清掃	オープニング、地域の清掃（若狭海浜・若狭・旭ヶ丘ほか）	150
2	11：00～12：00	シンメーナービー 交流会	シンメーナービーで豚汁・おにぎりを食べながらの 交流会（若狭公民館駐車場）	150



NPO法人地域サポートわかさ主催、NSCP協賛。地域の自治会、若狭小学校から児童、校長先生、教頭先生も参加。代表挨拶は若狭小学校野球部キャプテン。

### (まとめ)

地域が主体となりCGGの呼びかけを行う本事業も第9回目。自治会、学校、その他団体が参加し、旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園で、普段、目が届かないところにある燃えるゴミ、燃えないゴミ、草木類、カン、ビン、ペットボトル等の清掃・回収を行なった。

清掃終了後のプラスONE活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会の協力でシンメーナービによる豚汁とおにぎりを振る舞い、参加者で交流を深めることができた。

## 新春もちつき大会

趣 旨：地域の皆さまの健康と子ども達の健やかな成長を願って餅について新年を祝う。また、地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成26年1月11日（土）10：00～12：00

場 所：那覇市若狭公民館玄関前

対 象：地域住民 参 加 費：無料

参加人数：参加者延べ人数：250名

### 【 プログラム 】

10：00 オープニング ①あゆみ幼稚園学園・・・・・ 子ども獅子舞・マーチング  
②若狭ちむどんどん太鼓・・・ エイサー（じんじん・だんじゅかりゅし）  
③波上宮獅子舞保存会・・・ 獅子舞い  
開会のあいさつ・・・・・ 地域サポートわかさ理事長（早川忠光）  
激励のことば・・・・・ 若狭小学校校長（與古田思信）  
関係者紹介・・・・・ 若狭公民館館長（下地敏雄）  
つき始め式・・・・・ 各自治会長、小学校校長 他

10：20 つき始め



### （参加者の声）

- ・子ども達にもちつきを体験させることができて良かった。
- ・つきたてのおもちがとてもおいしかった。

### （まとめ）

地域の皆さんとの健康と子ども達の健やかな成長を願って行われる毎年恒例の行事でお正月の楽しみのひとつとなっている。

保育園児による獅子舞いとマーチング、子どもエイサー、波上宮獅子舞いでオープニングを盛り上げ、正月の縁起物の餅つきをした。幼児から高齢者まで大勢の方が集まって和気あいあいとつきたてのお餅をいただくことができた。

これからも、新年のめでたい行事として継続の必要性を感じる。

## 第19回ナイトウォーク

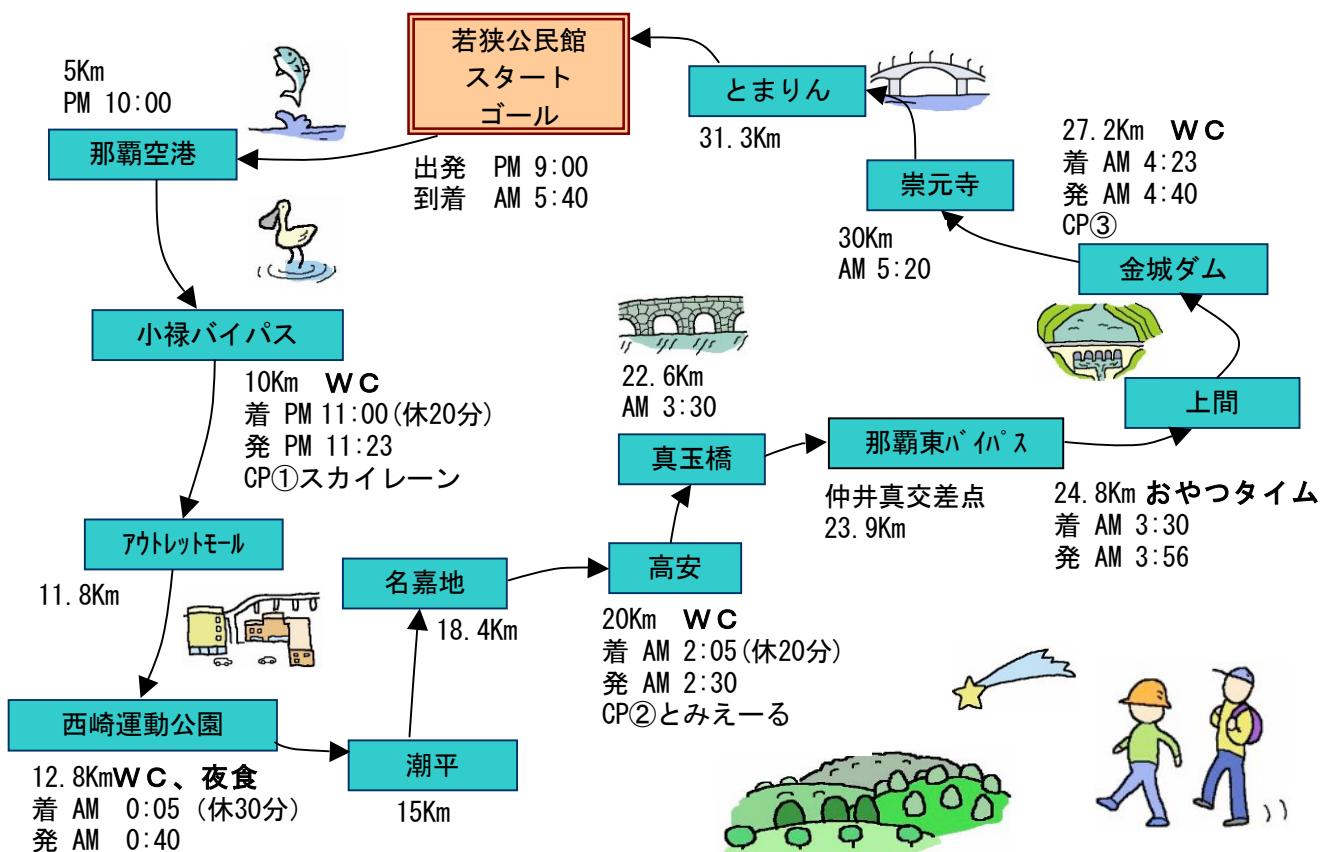
**趣旨**：中学生が、非日常的な体験の中でお互いに励まし合い、助け合いながらゴールを目指すことにより連帯感・達成感・充実感を共有し、友情を深め困難に立ち向かう気力を培うことを目的とする。

**期日**：平成26年3月21日（金）19:30集合～22日（土）7:30解散

**対象**：那覇中学校及び上山中学校の生徒

**参加費**：1,000円（夜食・朝食・おやつ代、保険料その他）

**参加人数**：53人      **スタッフ**：33人（職員を含む）      **コース**：32キロ



(受講者の声)

- ・中学最後の良い思い出になった（3年生）
  - ・大人と一緒に歩くことで、大人の人がいろいろやってくれているから、安全に歩けるのだと分かった
  - ・今年の参加者はみんな行儀が良く、すべてスムーズに行えた（ボランティアスタッフ）
- （まとめ）

今年で19年目となるナイトウォークは、大きな事故やトラブルもなく、無事に終了することができた。天気にも恵まれ、中学生、スタッフともに、参加して良かったと思えるイベントになった。

## 6 公民館まつり

### 第22回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深めること。また、若狭および周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつ、まつりとしたい。

期 間：平成26年2月23日（土）、24日（日）、3月1日（土）

会 場：若狭公民館 参加延べ人数： 2, 937人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
親子でつくろう♪お菓子の家	22日(土)10:00~12:00	ホール	35
オープニング	22日(土)13:00~13:40	公民館前道路	100
講演「若狭の今と昔」	22日(土)14:00~16:00	玄関前	100
音楽演奏のタベ	22日(土)18:00~20:00	ホール	400
展示発表	22日(土)10:00~17:00 23日(日) 9:00~14:00	研修室	500
舞台発表	23日(日)12:00~16:00	ホール	1000
健康相談コーナー	23日(日)11:00~14:00	2階ロビー	12
出店コーナー	23日(日)11:00~16:00	玄関	350
喫茶コーナー	22日(土)10:00~16:00 23日(日)10:00~16:00	2階ロビー	340
社交ダンスパーティー	3月1日(土)18:30~21:00	ホール	100



(まとめ)

第22回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体連絡協議会（45団体）が中心となって、舞台発表、展示発表、運営などを行った。例年行っている体験教室ではなく、今年は文化講演会「若狭の今と昔」を開催し好評を得た。音楽演奏のタベ、舞台発表では、地域サポートわかさの音響機材を使用したことにより、雑音が減少し、スムーズに運営することが出来た。サークルの成果発表に加え、若狭小学校及び幼稚園の児童、園児の発表もあり、多彩な演目により華やかではあったが、出演団体数が減少傾向にあるのは課題と言える。

## 公民館まつり風景

